

留学生センターの日本語補講コースにおける授業評価

— 2012年 1 学期の授業評価アンケート報告 —

加納 千恵子

要 旨

本稿では、2012年度 1 学期末に実施した筑波大学留学生センターの日本語補講コースの授業評価アンケートの結果について報告する。アンケートは、A. 授業全般についての学習意欲、授業内容、自主学習の促進、満足度に関する 4 つの質問、B. 各レベルの授業におけるシラバスやスケジュール、宿題、テスト、教師の指導法、成績評価の方法、日本語の上達に役立ったかどうかという 6 つの質問、C. 授業のレベルが自分に合っていたか、テキストや教材が適していたかという 2 つの質問と自由記述による感想という 3 部構成であった。調査の結果、日本語のレベルや技能別クラス等によって問題は異なるが、総じて満足度が高いことがわかった。

【キーワード】 授業評価 学習動機 自律的学習 満足度

Course Evaluation of the Japanese Language Program at the International Student Center : a report of the course evaluation survey in the 1st term, 2012

KANO Chieko

【Abstract】 This paper reports on the results of a course evaluation survey of the Japanese language program at the International Student Center. The survey sheet consisted of three parts : A) 4 questions concerning motivation, contents, independent learning and satisfaction, B) 6 questions concerning the syllabus/schedule, homework, tests, teaching methods, grading methods, and whether the students improved their Japanese or not, and C) 2 questions asking whether the contents of the classes were appropriate for the students' levels, and whether the textbooks/other materials were appropriate for them, plus a space for writing comments. While there were some different problems depending on the students' levels and the skill-based classes, the results of the survey indicate that most of the students were satisfied with the course.

【Keywords】 course evaluation, motivation, independent study, satisfaction

1. はじめに

筑波大学留学生センターの日本語補講コースでは、2004年度に日本語プログラムの改編¹を行ってから、毎学期、授業評価アンケートを実施してきた。その目的は、受講者の意見を聞くことにより、各コース、クラスにおける教材の選び方を検討し、教師の教授技術の向上、授業内容の改善などを図ることであった。その後、2007年度に再度プログラムの改編²が行われ、J100レベルからJ700レベルまでの7レベル体制に落ち着いた。2010年度からは留学生のさらなる増大に対応し1クラスの受講者数の適正化を図るため、J100レベルからJ900レベルまでの9レベル体制となり、学生数の多いレベルでは、同じ科目を2クラスあるいは3クラス開設するなどの措置を行った。これにより、日本語プログラムは安定してきたと言える。そのため、ここ数年の授業評価は、各コース、各技能別クラスなどで個別に実施され、全コース一斉に授業評価アンケート調査を行うことはなかった。

しかし、筑波大学は2013年度から3学期制から2学期・6モジュール制へと移行することが決まり、それに伴って、留学生センターの日本語科目は学期10週から15週のプログラムに改編され、全学の科目管理システムTWINSに載せられることになった。そのため、3学期制の下での最後の日本語補講コースの授業評価アンケートを一斉に実施し、新制度の日本語プログラムの改善に向けて参考にするための資料とすることとなった。

本稿では、2012年度1学期末に実施された授業評価アンケート調査の結果について報告する。今回の授業評価アンケートの内容は、留学生センターの倫理委員会³によるチェックを受けている。

2. 授業評価アンケートの調査項目と実施要領

アンケート用紙は、A. 授業全般についての学習動機、授業内容、自主学習の促進、満足度に関する4つの質問、B. 各授業の内容について、シラバスやスケジュール、宿題、テスト、教師の指導法、成績評価の方法、日本語の上達に役立ったかどうかという6つの質問、C. 授業のレベルが自分に合っていたか、テキストや教材が適していたかという2つの質問と感想を自由記述する欄という3つの部分で構成されている。受講生には、日本語版のアンケート用紙の裏にその英語訳あるいは中国語訳をつけたものを配布した。

セクションAの4つの質問は、筑波大学の学類の全授業を対象に行われているコンピュータによる共通の授業評価5項目の中から「授業実施」⁴に関する質問を外したものである。セクションBの各レベルの授業に関する6つの質問、およびセクションCの2つの質問と自由記述による感想の部分は、留学生センターで以前に実施した授業評価アンケートから主要な項目を抜粋したものである。

3. 授業評価アンケートの回答者数および回収率

表1は初級日本語コースJ100～J400の回答者数と受講者数、および今回のアンケートの回収率である。J200コースではアンケートの回収方法がうまく学生に伝わらず回収率が低かったが、それ以外では、回収率が5割を超えており、特にJ400レベルでは、8割近くが回答を寄せていることがわかる。

表1 初級の回答者

	回答者	受講者	回収率
J100	26	39	67%
J200	3	22	14%
J300	22	38	58%
J400	21	27	78%
合計	72	126	57%

中上級では、500～900の各レベルの技能別クラスにおいてアンケートを実施し、回収率は表2～表7のようになった。

表2 文法クラスの回収率

	回答者	受講者	回収率
J511 文法	30	55	55%
J611 文法	19	46	41%
J711 文法	19	46	41%
J811 文法		[28]	
J911 文法	22	23	96%
J914 文法	11	13	85%
合計	101	183	55%

表3 話すクラスの回収率

	回答者	受講者	回収率
J521 話す	37	43	86%
J621 話す	32	38	84%
J721 話す	23	30	77%
J821 話す	13	15	87%
J921 話す			
合計	105	126	83%

表4 聞くクラスの回収率

	回答者	受講者	回収率
J531 聞く	47	53	89%
J631 聞く	29	41	71%
J731 聞く	27	30	90%
J831 聞く	11	19	58%
J931 聞く	8	9	89%
合計	122	152	80%

表5 読むクラスの回収率

	回答者	受講者	回収率
J541 読む	34	40	85%
J641 読む	29	30	97%
J741 読む	15	25	60%
J841 読む	10	11	91%
J941 読む	7	7	100%
合計	95	113	84%

表6 書くクラスの回収率

	回答者	受講者	回収率
J551 書く	39	52	75%
J651 書く	19	25	76%
J751 書く	26	31	84%
J851 書く	18	20	90%
J951 書く	3	5	60%
合計	105	133	79%

表7 漢字クラスの回収率

	回答者	受講者	回収率
K200	9	19	47%
K300	9	17	53%
K400	15	21	71%
K500	21	25	84%
K600	21	26	81%
K700	21	25	84%
K800	11	11	100%
K900	9	10	90%
合計	116	154	75%

表2は文法クラスの回答者数および回収率である。J811の文法クラスは、28名の受講者がいたが、今回はアンケート調査を実施できなかった。また、話すクラス(表3)では、1学期はJ900レベルの受講者がいなかったため、J931は空欄となっている。表2～7を見ると、J911文法クラス、J731聞くクラス、J641・J841・J941の読むクラス、J851書くクラスとK800・K900の漢字クラスでアンケート回収率が90%を超えていたことがわかる。

4. 授業評価アンケートの結果

4.1 授業全般についての回答結果

授業評価アンケートのセクションAでは、授業全般について以下の4つの質問項目に「4 よく当てはまる」「3 すこし当てはまる」「2 やや当てはまらない」「1 まったく当てはまらない」の4段階評定をしている。

A1.【学習意欲】私は、この授業に意欲的かつ積極的に取り組んだ。

A2.【授業内容】この授業の内容は適切であった。

A3.【自主学習】先生は、この授業に関わって事前(予習)あるいは事後(復習)の自主的な学習を学生に促す努力や工夫をしていた。

A4.【授業満足度】私は、この授業を受講して良かった。

4.1.1 初級日本語コースの結果

J100～J400の初級日本語コースの学習者の上記A1～A4についての回答結果を図1-1-1～図1-1-3に示す。J100が回答者数26名、J300が22名、J400が21名だったのに対して、J200は先述したように3名分しか回収できなかったため今回は分析対象から外した。全般的に初

級レベルにおいては学習者の学習意欲が高く、授業内容も授業満足度も「よく当てはまる」と「少し当てはまる」という回答が多かった。自主学習の促進については、「やや当てはまらない」が若干見られたが、これは初級において教師の工夫や努力が十分理解されていないという可能性も示唆している。

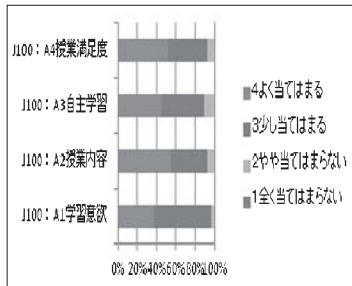


図1-1-1：初級J100の回答結果

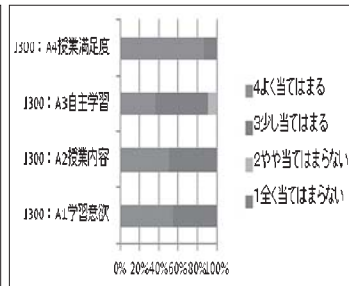


図1-1-2：初級J300の回答結果

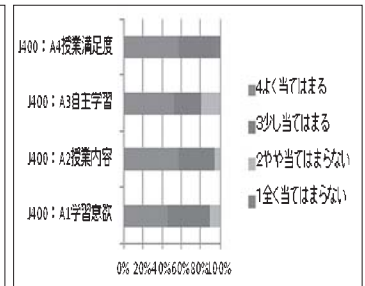


図1-1-3：初級J400の回答結果

4. 1. 2 中上級の文法クラスの結果

同じ質問項目への回答結果を中上級のレベル別、技能別にみる。

まずJ511 (30名)、J611 (19名)、J711 (19名)、J911 (22名)、J914 (11名) の文法クラスの回答結果は、図1-2-1～図1-2-5のようになった。(J811の文法クラスではアンケートが

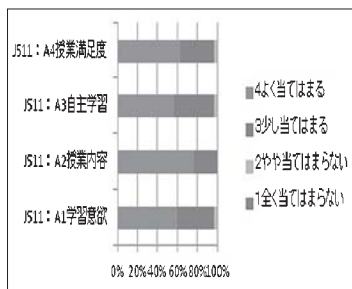


図1-2-1：J511文法の回答結果

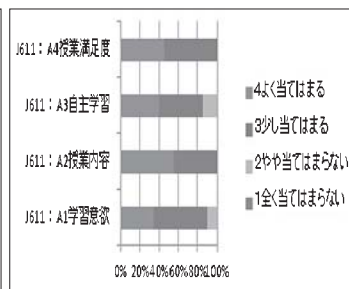


図1-2-2：J611文法の回答結果

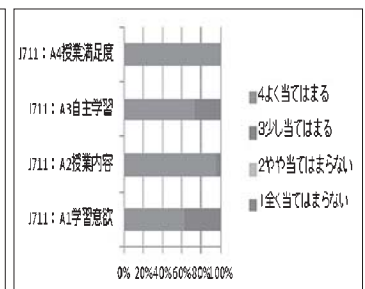


図1-2-3：J711文法の回答結果

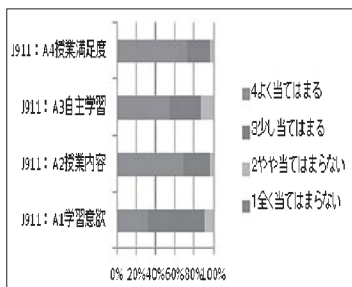


図1-2-4：J911文法の回答結果

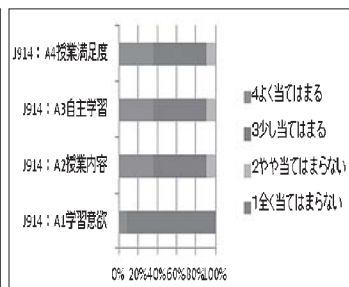


図1-2-5：J914文法の回答結果

実施できなかったため、分析対象から外した。)

中上級の文法クラスの授業評価は総じて高く、特にJ711は「よく当てはまる」が100%近かったのが目立つ。

学習意欲の強さに関しては、上級の900レベルになると、「よく当てはまる」より「少し当てはまる」の方が多くなっていることがわかる。

4. 1. 3 中上級「話す」クラスの結果

次に、J521 (37名)、J621 (32名)、J721 (23名)、J821 (13名) の「話す」クラスの回答結果は、図1-3-1～図1-3-4のようになった。

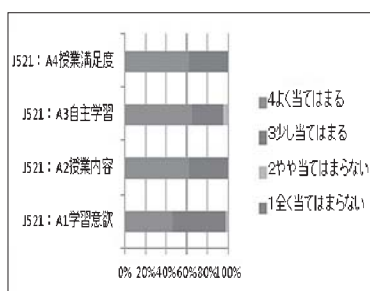


図1-3-1: J521話すの回答結果

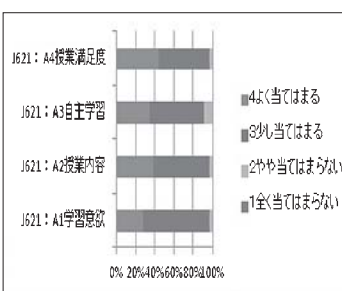


図1-3-2: J621話すの回答結果

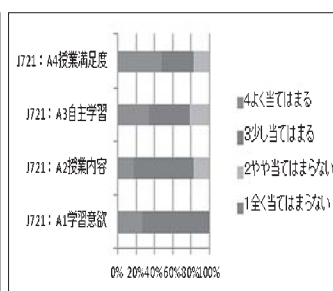


図1-3-3: J721話すの回答結果



図1-3-4: J821話すの回答結果

中上級の「話す」クラスの授業評価も総じて高かったが、特にJ821では、すべての評価項目において「よく当てはまる」が非常に多かったのが目立つ。一方、J721では、「よく当てはまる」より「少し当てはまる」の方が多く、3つの項目で「やや当てはまらない」という回答が少し見られた。

4. 1. 4 中上級「聞く」クラスの結果

J531 (47名)、J631 (29名)、J731 (27名)、J831 (11名)、J931 (8名) の「聞く」クラスの回答結果は、図1-4-1～図1-4-5のようになった。

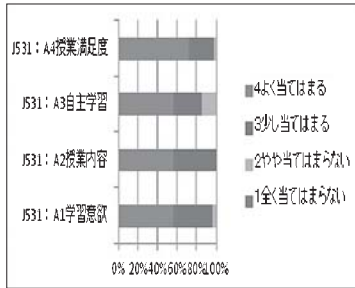


図1-4-1: J531聞くの回答結果

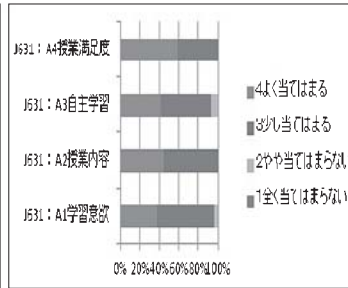


図1-4-2: J631聞くの回答結果

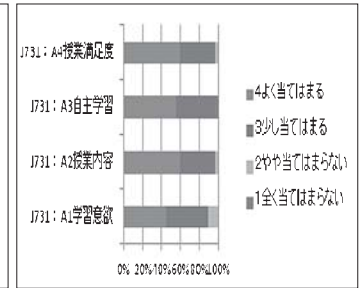


図1-4-3: J731聞くの回答結果

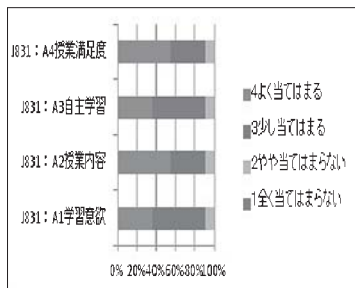


図1-4-4: J831聞くの回答結果

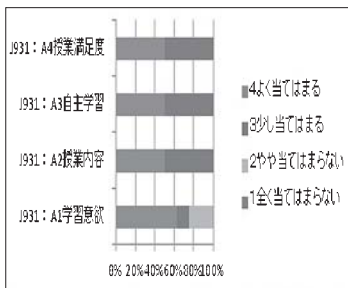


図1-4-5: J931聞くの回答結果

中上級の「聞く」クラスにおいても「よく当てはまる」と「少し当てはまる」がほぼ同程度で評価が高かった。J931では学習意欲の面で「よく当てはまる」が他のレベルに比べて多い一方、「やや当てはまらない」という回答も見られた。

4. 1. 5 中上級「読む」クラスの結果

J541 (34名)、J641 (29名)、J741 (15名)、J841 (10名)、J941 (7名) の「読む」クラスの回答結果は、図1-5-1～図1-5-5のようになった。

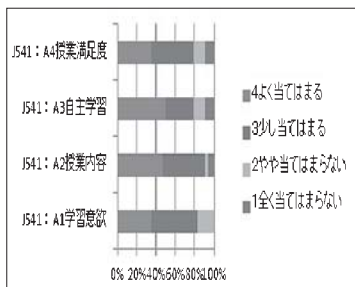


図1-5-1: J541読むの回答結果

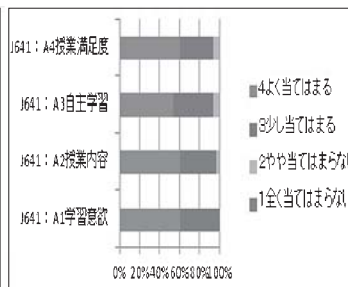


図1-5-2: J641読むの回答結果

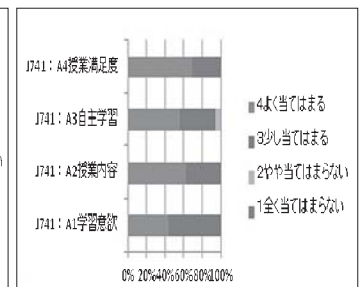


図1-5-3: J741読むの回答結果

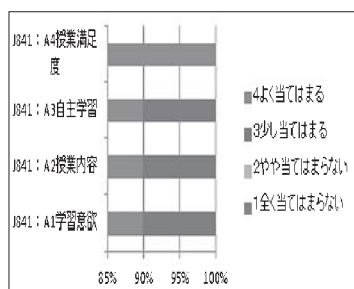


図1-5-4：J841読むの回答結果

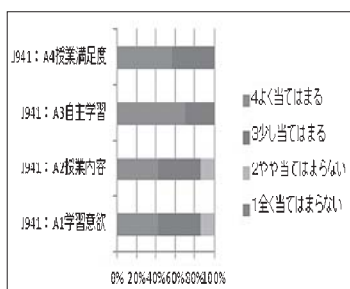


図1-5-5：J941読むの回答結果

中上級の「読む」クラスでも、総じて評価は高いものの、J541では「やや当てはまらない」と「全く当てはまらない」が少し見られた。これは、口頭練習中心に行われている初級レベルの授業から中級レベルに上がったところで遭遇する読み書きの問題である可能性があるのではないと思われる。

4. 1. 6 中上級「書く」クラスの結果

J551 (39名)、J651 (19名)、J751 (26名)、J851 (18名)、J951 (3名) の「書く」クラスの回答結果は、図1-6-1～図1-6-5のようになった。ただしJ951クラスの回答者は3名と少人数であったため、参考程度に留めたい。

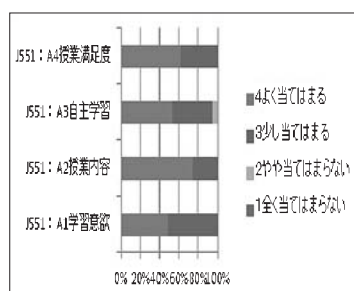


図1-6-1：J551書くの回答結果

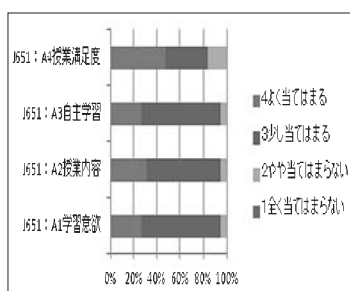


図1-6-2：J651書くの回答結果

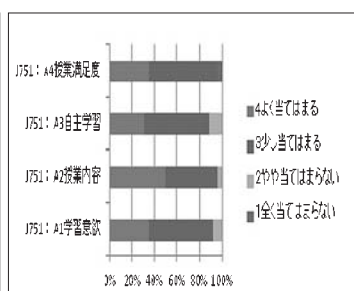


図1-6-3：J751書くの回答結果

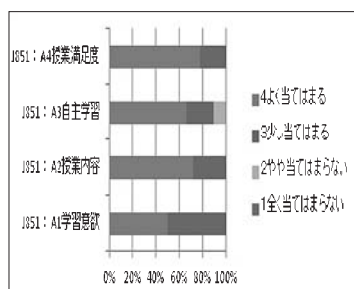


図1-6-4：J851書くの回答結果

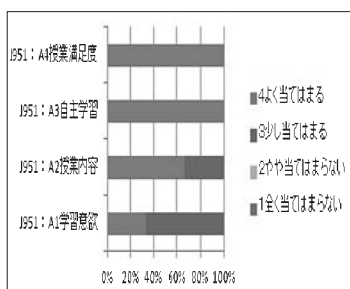


図1-6-5：J951書くの回答結果

中上級の「書く」クラスでは、500レベルにおいて「読む」クラスで見られたような問題の回答は見られなかった。J651およびJ751で「よく当てはまる」の割合が減り、「やや当てはまらない」がすべての項目に少しだけ見られたが、J851とJ951では「よく当てはまる」の回答が増えている。

4. 1. 7 漢字クラスの結果

K200 (9 名)、K300 (9 名)、K400 (15名)、K500 (21名)、K600 (21名)、K700 (21名)、K800 (11名)、K900 (9 名) の回答結果を図1-7-1～図1-7-8に示す。

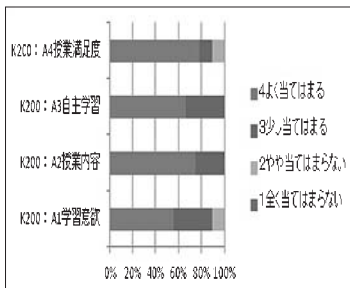


図1-7-1：K200漢字の回答結果

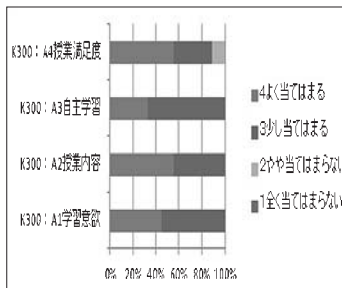


図1-7-2：K300漢字の回答結果

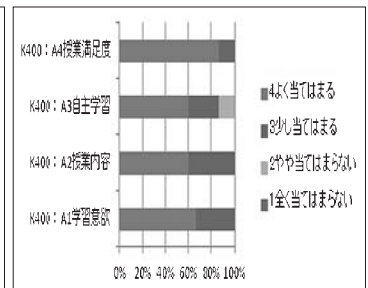


図1-7-3：K400漢字の回答結果

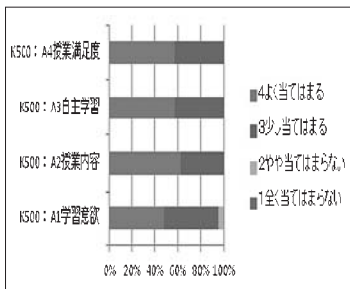


図1-7-4：K500漢字の回答結果

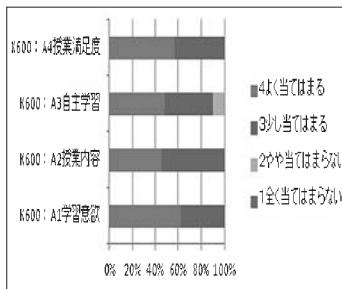


図1-7-5：K600漢字の回答結果

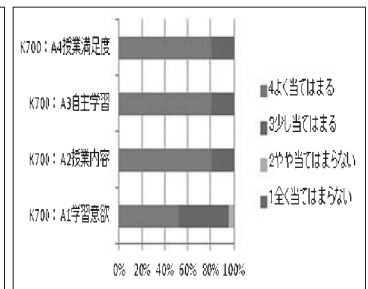


図1-7-6：K700漢字の回答結果

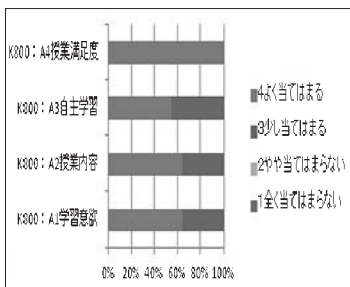


図1-7-7：K800漢字の回答結果

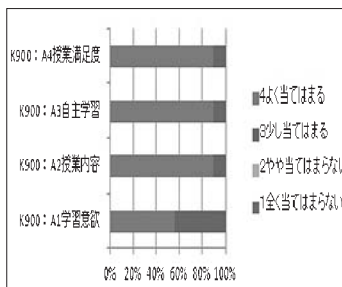


図1-7-8：K900漢字の回答結果

「漢字」クラスは、初級レベルにおいては選択科目であり、特に漢字の学習を希望する者だけが受講するためか、総じて評価が高くなっている。中上級レベルにおいても、満足度、自主学習、授業内容に関して「よく当てはまる」という回答の割合が高い。

4. 2 授業の内容・方法の評価

授業評価アンケートのセクションBは、各コース・クラスの授業の内容や方法などに関する以下の6つの質問項目に対して「4 とても」「3 だいたい」「2 あまり」「1 ぜんぜん」「0 わからない」の5段階評定をする。

- B1. シラバスやスケジュールはよくわかりましたか。
- B2. 宿題は役に立ちましたか。
- B3. テストやクイズは役に立ちましたか。
- B4. 先生の教え方はよかったですか。
- B5. 成績の評価のしかたはよくわかりましたか。
- B6. あなたの日本語をよくするために、授業は役に立ちましたか。

4. 2. 1 初級日本語コースの結果

J100、J300、J400の初級日本語コースの学習者の上記B1～B6についての回答結果を図2-1-1～図2-1-4に示す。

図2-1-1をみると、J100のレベルの受講者は日本語コースにおける勉強の仕方についてまだ十分な理解をしていない可能性が窺える。シラバス・スケジュールやテスト・クイズについてはよく理解している者が多く、授業が役に立ったという評価も高いものの、初級の上のレベルに比べると、宿題、教え方、成績評価に対する理解が不十分な受講者も若干いるらしいことがわかる。J300およびJ400のレベルになると、各項目への理解が高くなっている。

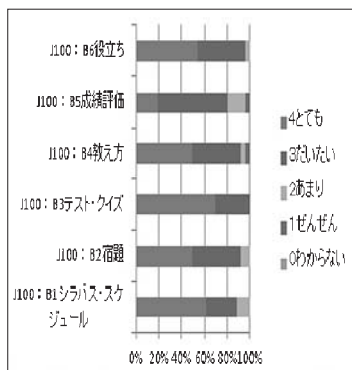


図2-1-1：初級J100の回答結果

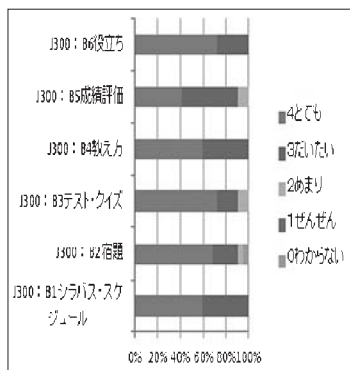


図2-1-2：初級J300の回答結果

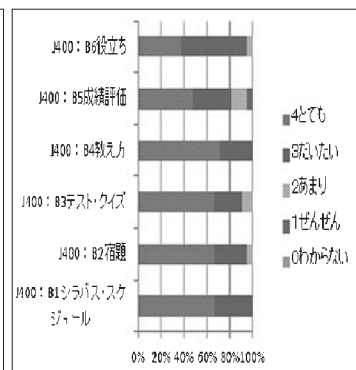


図2-1-3：初級J400の回答結果

4. 2. 2 中上級文法クラスの結果

セクションBの質問項目に対するJ511 (30名)、J611 (19名)、J711 (19名)、J911 (22名)、J914 (11名) の文法クラスの回答結果は、図2-2-1～図2-2-5のようになった。

J511、J611、J711の中上級文法クラスでは、同じテキストの異なる課を使って授業が行われており、moodleによるチェックテスト、宿題提出など、授業の進め方も共通している。いずれのクラスでも各項目の評価が高い。それに対して、上級のJ911はコロケーションを中心とした語用文法のクラス、J914は中上級文法の総復習と運用力強化のためのクラスと、内容もテキストも異なっているためか、回答結果にも若干の違いが見られる。

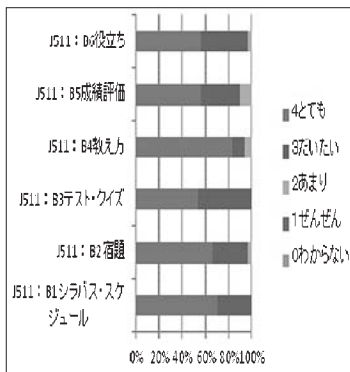


図2-2-1：J511文法の回答結果

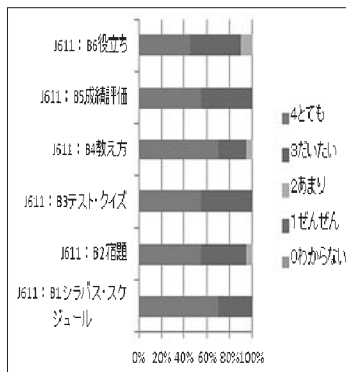


図2-2-2：J611文法の回答結果

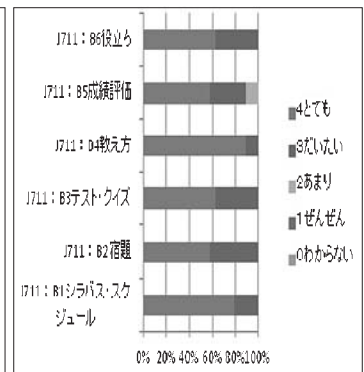


図2-2-3：J711文法の回答結果

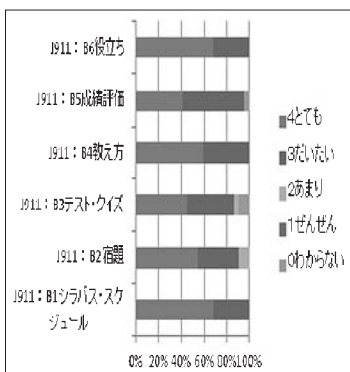


図2-2-4：J911文法の回答結果

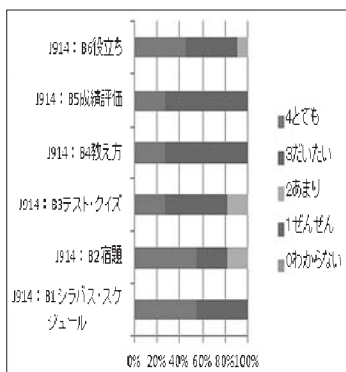


図2-2-5：J914文法の回答結果

4. 2. 3 中上級「話す」クラスの結果

J521 (37名)、J621 (32名)、J721 (23名)、J821 (13名)の「話す」クラスの回答結果は、図2-3-1～図2-3-4のようになった。

中上級の「話す」クラスでは、どのレベルでも各項目に対する理解度が高くなっているが、特にJ821のクラスでは「とても」という回答が非常に多いことがわかる。

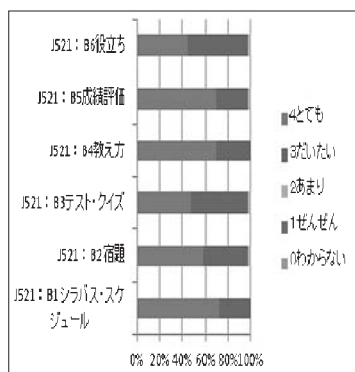


図2-3-1：J521話すの回答結果

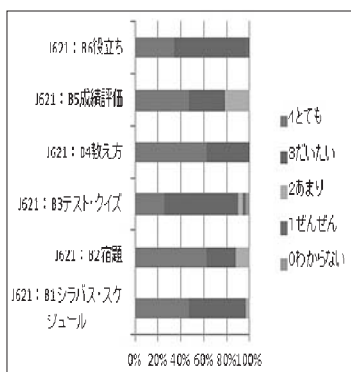


図2-3-2：J621話すの回答結果

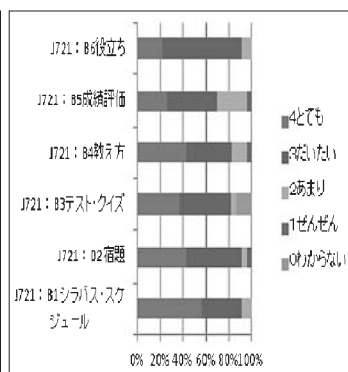


図2-3-3：J721話すの回答結果

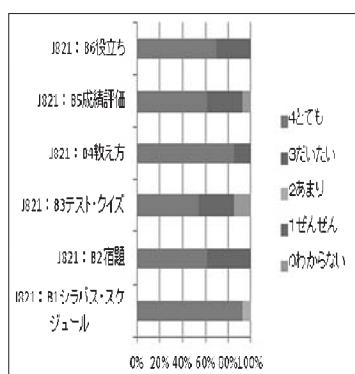


図2-3-4：J821話すの回答結果

4. 2. 4 中上級「聞く」クラスの結果

J531 (47名)、J631 (29名)、J731 (27名)、J831 (11名)、J931 (8名)の「聞く」クラスの回答結果は、図2-4-1～図2-4-5のようになった。

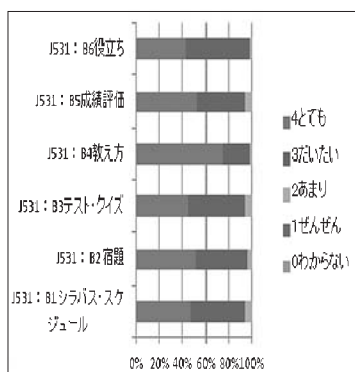


図2-4-1：J531聞くの回答結果

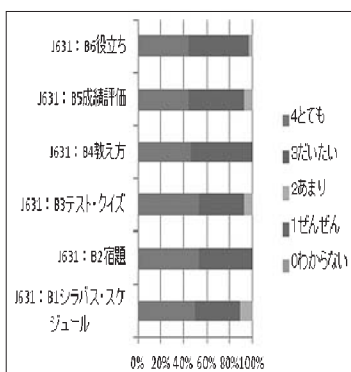


図2-4-2：J631聞くの回答結果

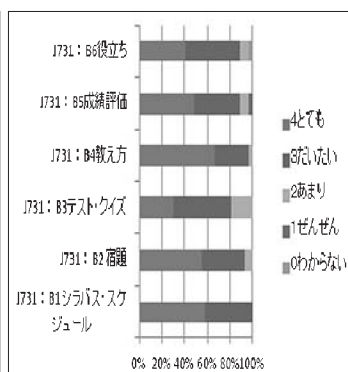


図2-4-3：J731聞くの回答結果

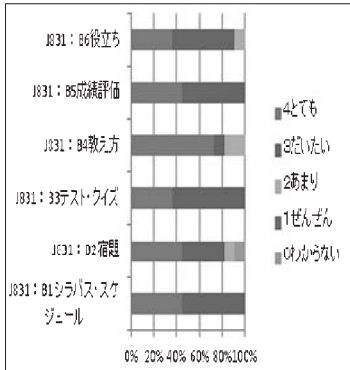


図2-4-4：J831聞くの回答結果

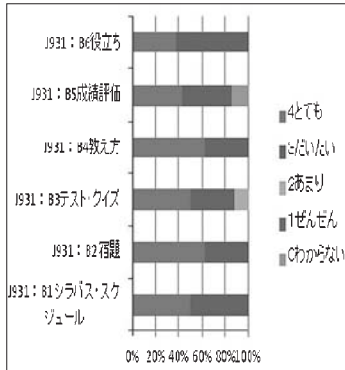


図2-4-5：J931聞くの回答結果

クラスによって「あまり」という回答が少し見られる点、また上級になっても成績評価や宿題について「わからない」という回答が見られる点は注意する必要があるだろう。

4.2.5 中上級「読む」クラスの結果

J541 (34名)、J641 (29名)、J741 (15名)、J841 (10名)、J941 (7名)の「読む」クラスの回答結果は、図2-5-1～図2-5-5のようになった。

4.1.5では、J541「読む」クラスにおける授業内容や満足度などの評価において若干の問題回答が見られたことについて、口頭練習中心に行われている初級レベルの授業に慣れていた受講者が中級レベルに上がったとたんに読み書きに問題を感じる可能性があることを述べたが、ここでもJ541において「あまり」「ぜんぜん」という回答が若干見られることに注意する必要があるだろう。ただし、J641、J741、J841、J941の回答結果をみると、上のレベルに上がるにつれてその問題は解消されているように見える。

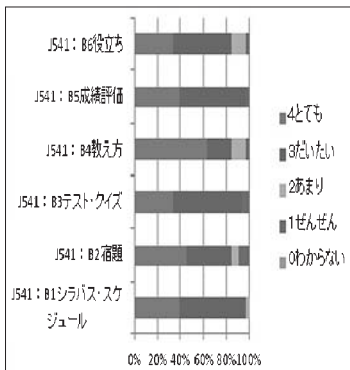


図2-5-1：J541読むの回答結果

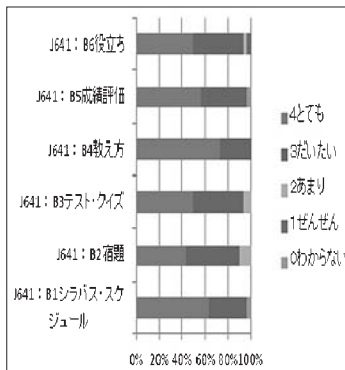


図2-5-2：J641読むの回答結果

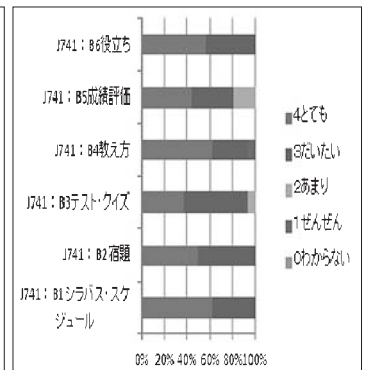


図2-5-3：J741読むの回答結果

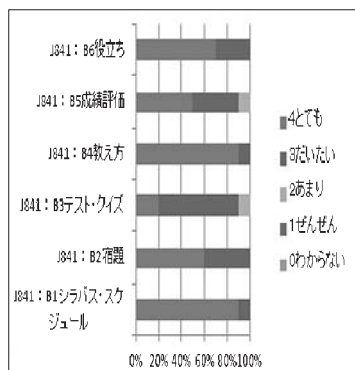


図2-5-4：J841読むの回答結果

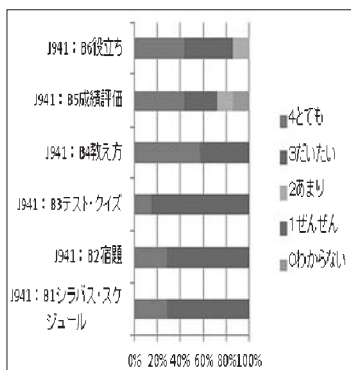


図2-5-5：J941読むの回答結果

4. 2. 6 中上級「書く」クラスの結果

J551 (39名)、J651 (19名)、J751 (26名)、J851 (18名)、J951 (3名)の「書く」クラスの回答結果は、図2-6-1～図2-6-5のようになった。

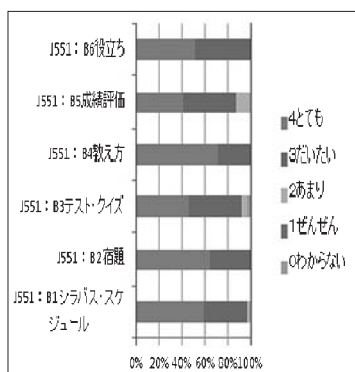


図2-6-1：J551書くの回答結果

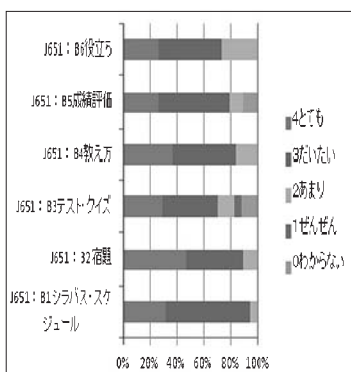


図2-6-2：J651書くの回答結果

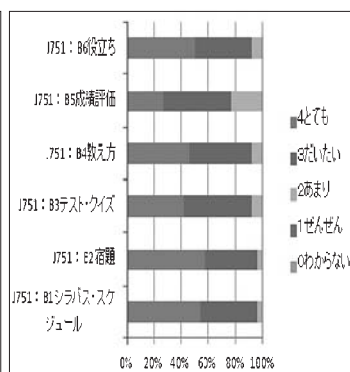


図2-6-3：J751書くの回答結果

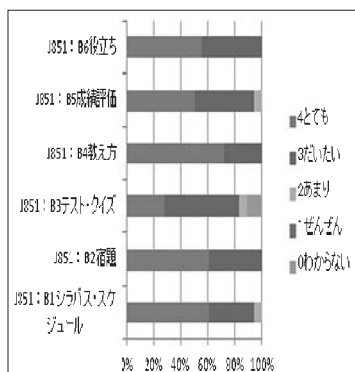


図2-6-4：J851書くの回答結果

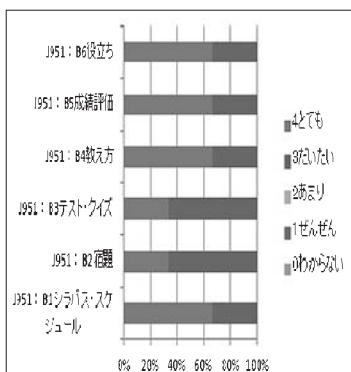


図2-6-5：J951書くの回答結果

4.1.6でも述べたように、中上級の「書く」クラスでは、500レベルの「読む」クラスで見られたような問題回答は見られなかった。むしろその上のJ651のクラスで「あまり」「ぜんぜん」「わからない」という回答が少し見られ、700、800レベルでもあまり理解していないという回答が見られる。しかし、900レベルになると、「とても」と「だいたい」の回答のみとなっている。

4.2.7 漢字クラスの結果

K200（9名）、K300（9名）、K400（15名）、K500（21名）、K600（21名）、K700（21名）、K800（11名）、K900（9名）の漢字クラスの回答結果を図2-7-1～図2-7-8に示す。漢字クラスにおいては、各項目に対する受講者の理解度が比較的高いが、300レベルで若干の理解不足を示す回答が見られた。その後、400、500レベルは安定しているが、600レベルで中級の漢字学習に入る際にも若干の理解不足の回答があり、それまでの初級レベルと学習方法が変わることについての受講者の戸惑いが窺える。しかしながら、700以降のレベルでは、安定して理解度が高くなっている。

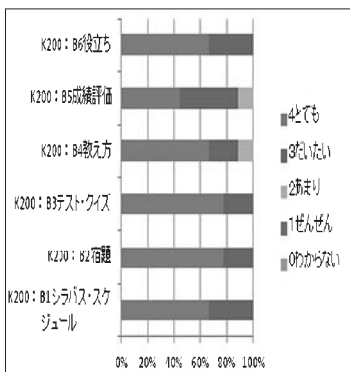


図2-7-1：K200漢字の回答結果

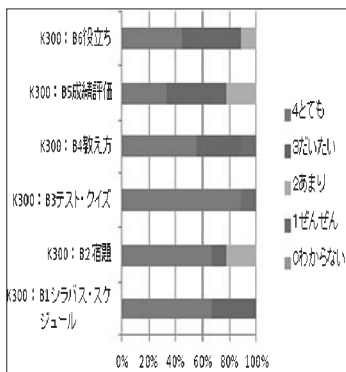


図2-7-2：K300漢字の回答結果

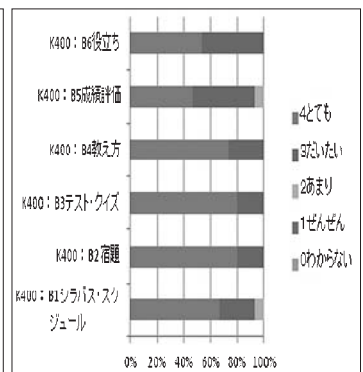


図2-7-3：K400漢字の回答結果

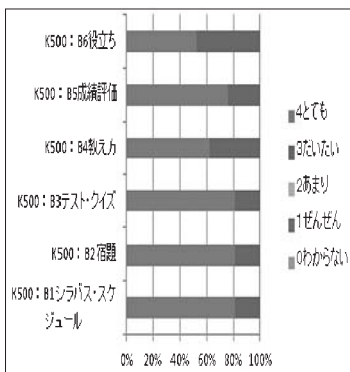


図2-7-4：K500漢字の回答結果

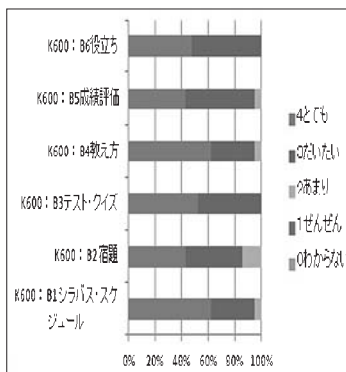


図2-7-5：K600漢字の回答結果

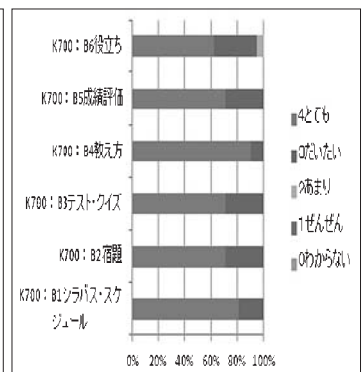


図2-7-6：K700漢字の回答結果

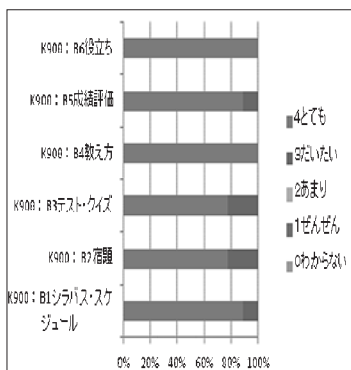
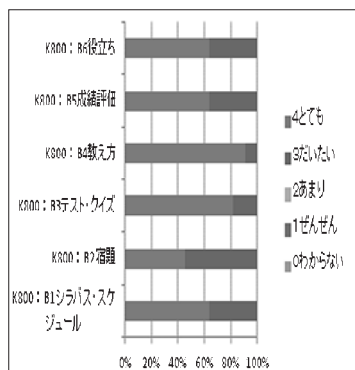


図2-7-7：K800漢字の回答結果 図2-7-8：K900漢字の回答結果

4.3 授業のレベル、教材の適合性の評価

授業評価アンケートのセクションCは、各コース・クラスの授業のレベルや教科書・教材に関する2つの質問項目に「4 とても」「3 だいたい」「2 あまり」「1 ぜんぜん」「0 わからない」の5段階評定をするものと、授業についてコメントを自由記述するものであった。

C1. 授業のレベルはどうでしたか。自分のレベルに合っていましたか。

C2. 教科書や教材は、学びたいことが学べましたか。

C3. 授業についてのコメントがあったら、書いてください。

本稿の目的は、補講コース全体の授業評価を概観することであるため、C3の自由記述に関してはここでは取り上げない。

4.3.1 授業のレベルについての結果

J100、J300、J400の初級日本語コースの学習者の上記C1についての回答結果を図3-1-1～図3-1-3に示す。

J100のゼロ初級クラスにおいて「少し難しい」という回答が少し見られるが、半数余りは「ちょうどよい」と答えている。J300、J400では、ほとんどの受講者が「ちょうどよい」という評価をしており、J400では「少し簡単」と回答している者も若干見られる。

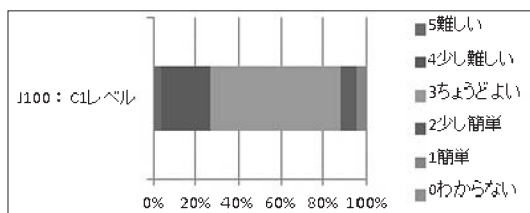


図3-1-1：J100の回答結果

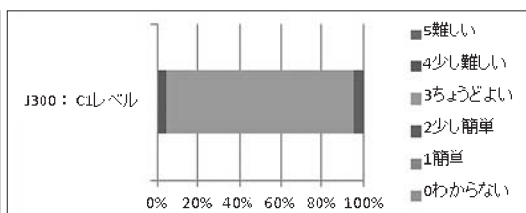


図3-1-2：J300の回答結果

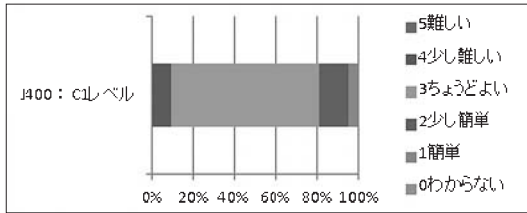


図3-1-3 : J400の回答結果

J511（30名）、J611（19名）、J711（19名）、J911（22名）、J914（11名）の文法クラスの回答結果は、図3-2-1～図3-2-5のようになった。

中上級レベルの文法クラスでは、「ちょうどよい」が60%ほどを占め、「少し難しい」と「少し簡単」が少しずついるという結果になっている。上級レベルになると、「ちょうどよい」が大半を占めていることがわかる。

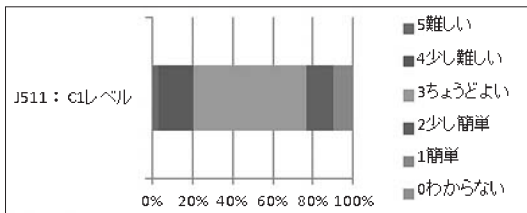


図3-2-1 : J511文法の回答結果

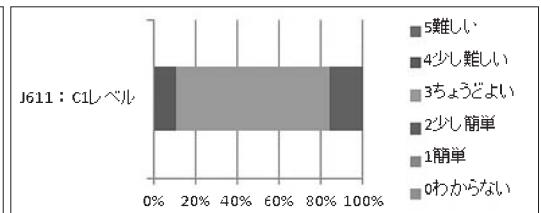


図3-2-2 : J611文法の回答結果

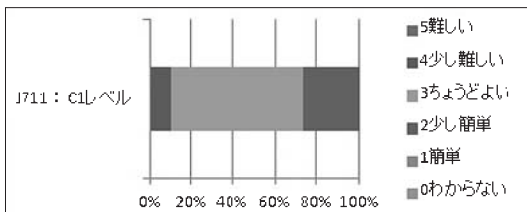


図3-2-3 : J711文法の回答結果

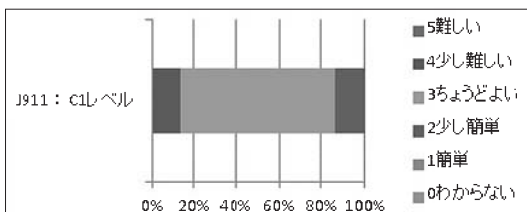


図3-2-4 : J911文法の回答結果

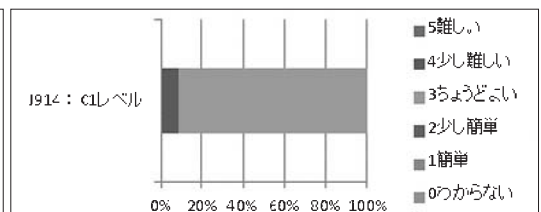


図3-2-5 : J914文法の回答結果

J521（37名）、J621（32名）、J721（23名）、J821（13名）の「話す」クラスの回答結果は、図3-3-1～図3-3-4のようになった。

「話す」クラスにおいては、「ちょうどよい」が70～80%を占めていることがわかるが、J821では「難しい」という回答が少し見られる。900レベルの「話す」クラスが今期は開講されなかったため、上級においてどのようなレベルの問題があるのか不明だが、さらに見ていく必要があろう。

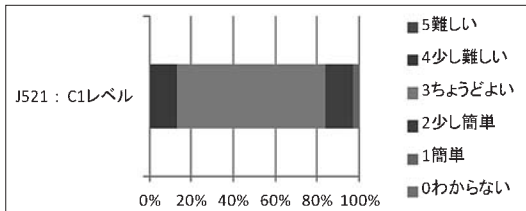


図3-3-1: J521話すの回答結果

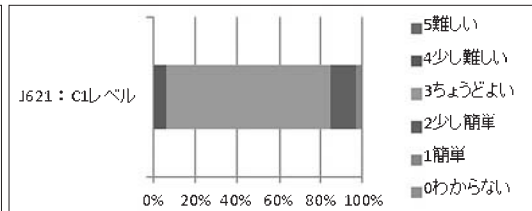


図3-3-2: J621話すの回答結果

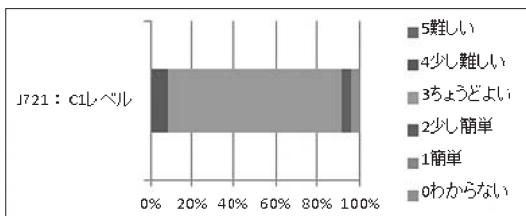


図3-3-3: J721話すの回答結果

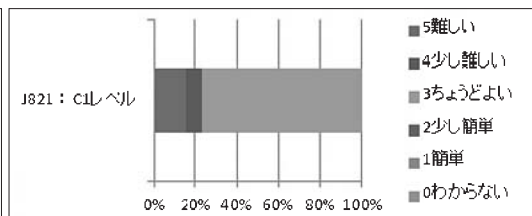


図3-3-4: J821話すの回答結果

J531 (47名)、J631 (29名)、J731 (27名)、J831 (11名)、J931 (8名) の「聞く」クラスの回答結果は、図3-4-1～図3-4-5のようになった。

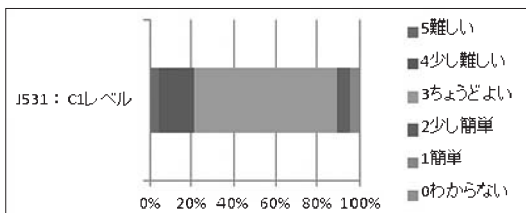


図3-4-1: J531聞くの回答結果

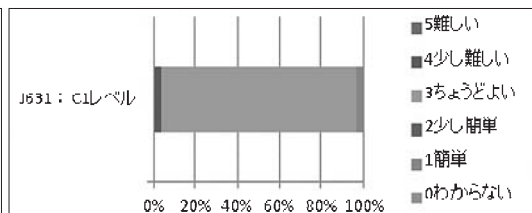


図3-4-2: J631聞くの回答結果

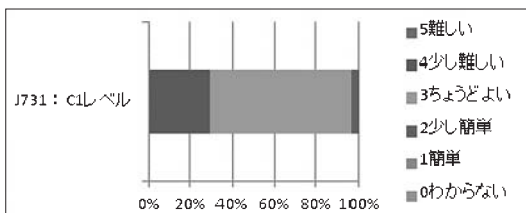


図3-4-3: J731聞くの回答結果

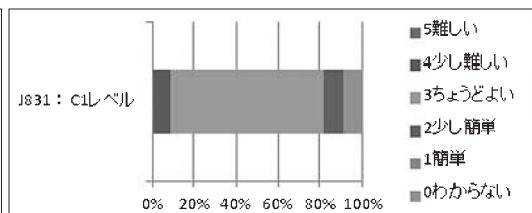


図3-4-4: J831聞くの回答結果

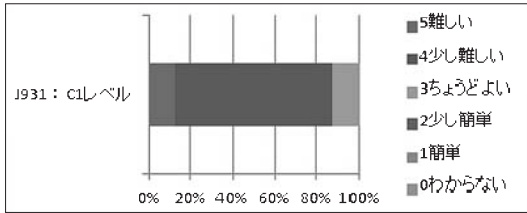


図3-4-5：J931聞くの回答結果

他の技能別クラスと同様、中上級の「聞く」クラスでも「ちょうどよい」というレベル評価が大多数を占めているが、初級から上がってきたばかりの500レベルでは「少し難しい」という回答が若干多くなっている。また、上級のJ931では「少し難しい」という回答が大多数を占め、「ちょうどよい」という回答が少数であることは注意する必要があるだろう。

J541（34名）、J641（29名）、J741（15名）、J841（10名）、J941（7名）の「読む」クラスの回答結果は、図3-5-1～図3-5-5のようになった。

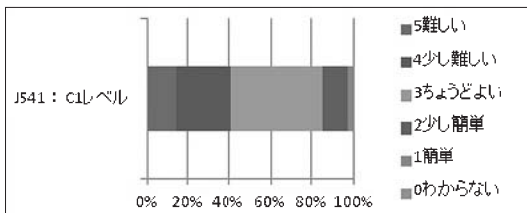


図3-5-1：J541読むの回答結果

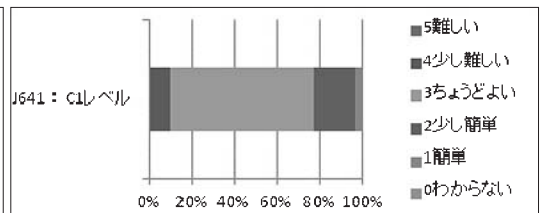


図3-5-2：J641読むの回答結果

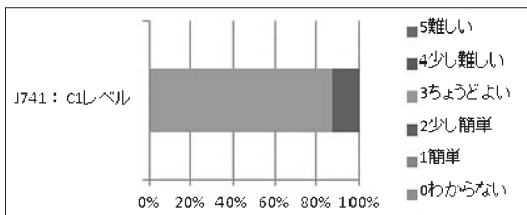


図3-5-3：J741読むの回答結果

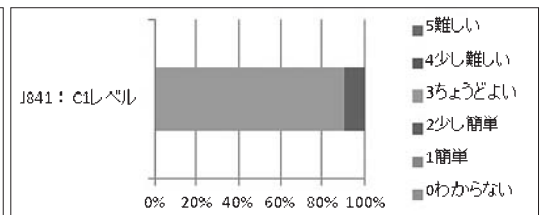


図3-5-4：J841読むの回答結果

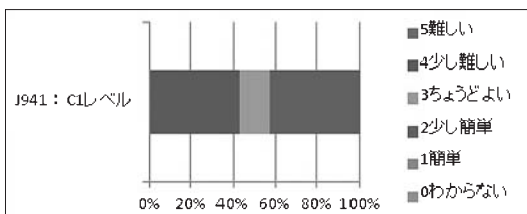


図3-5-5：J941読むの回答結果

セクションA、Bの回答結果と同様、500レベルの「読む」クラスにおいては、「ちょうどよい」という回答が他のレベルに比べて少なく、「難しい」「少し難しい」という回答が多い結果になっている。また、900レベルの「読む」クラスにおいては、「ちょうどよい」という回答よりも「少し難しい」と「少し簡単」という回答が多いという結果になっており、このレベルの受講者の日本語能力にかなりの差があることが見てとれる。700、800レベルの「読む」クラスでは、「ちょうどよい」というレベル評価が大多数を占めている。

J551 (39名)、J651 (19名)、J751 (26名)、J851 (18名)、J951 (3名) の「書く」クラスの回答結果は、図3-6-1～図3-6-5のようになった。

中上級の「書く」クラスにおいては、「ちょうどよい」というレベル評価が大多数を占めているが、やはり500レベルにおいて若干「少し難しい」という回答が見られる。また、900レベルにおいても「少し難しい」というレベル評価が30%程度見られた。

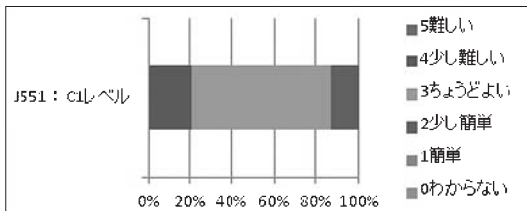


図3-6-1：J551書くの回答結果

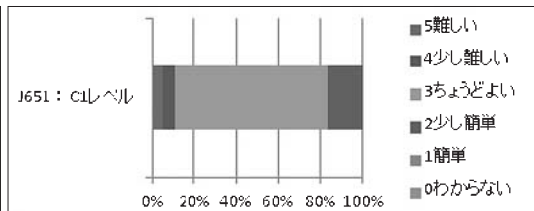


図3-6-2：J651書くの回答結果

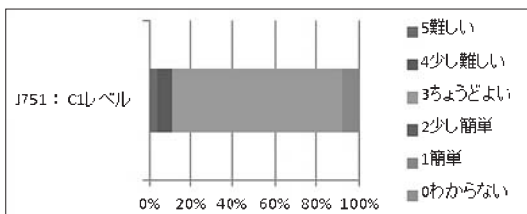


図3-6-3：J751書くの回答結果

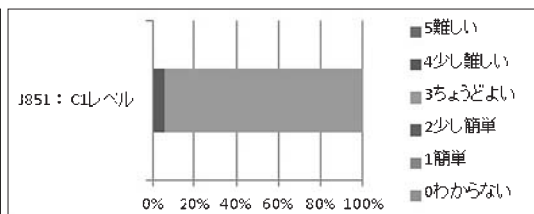


図3-6-4：J851書くの回答結果

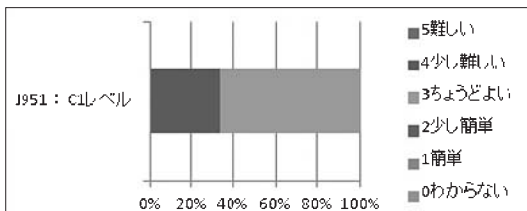


図3-6-5：J951書くの回答結果

漢字K200 (9名)、K300 (9名)、K400 (15名)、K500 (21名)、K600 (21名)、K700 (21名)、K800 (11名)、K900 (9名) の結果を図3-7-1～図3-7-8に示す。

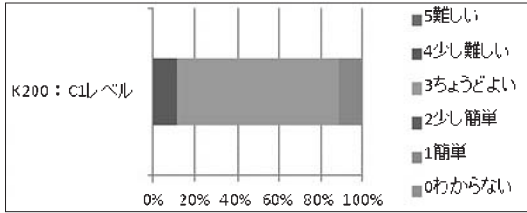


図3-7-1 : K200漢字の回答結果

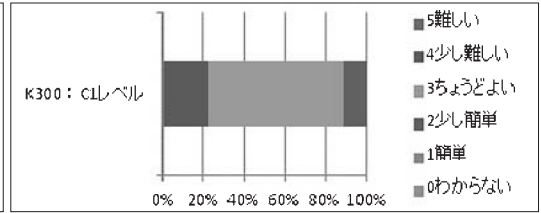


図3-7-2 : K300漢字の回答結果

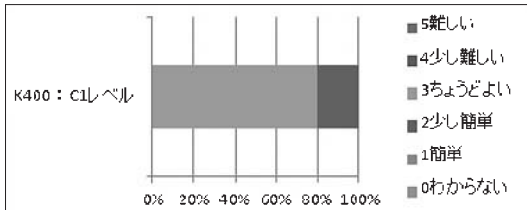


図3-7-3 : K400漢字の回答結果

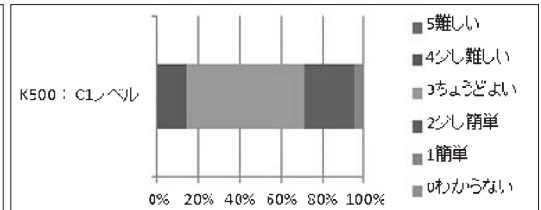


図3-7-4 : K500漢字の回答結果

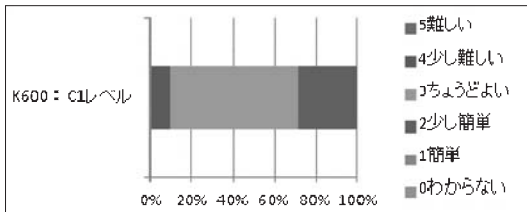


図3-7-5 : K600漢字の回答結果

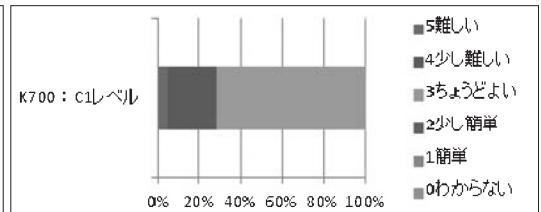


図3-7-6 : K700漢字の回答結果

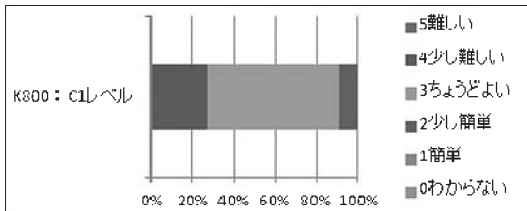


図3-7-7 : K800漢字の回答結果

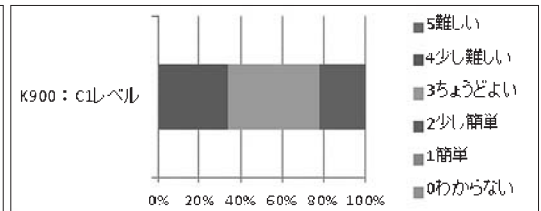


図3-7-8 : K900漢字の回答結果

初級レベルのK200～500においては「ちょうどよい」というレベル評価が大多数を占め、初級後半になるにつれ「少し簡単」という回答も見られるようになっている。一方、中級レベルになると、徐々に「少し難しい」という回答が増え、初級における漢字の難しさとは異なる、漢字語彙の習得の難しさを感じるようになっていられる。900レベルにおいては、「ちょうどよい」という回答と「少し難しい」「少し簡単」という回答が併存している。

4. 3. 2 教科書・教材について

この節では、各コース、各クラスで使用している教科書、教材で学びたいことが学べた

かどうかに関するC2の回答結果をまとめる。

J100、J300、J400の初級日本語コースの学習者の回答結果は図4-1-1～図4-1-3のようになった。初級コースにおいては、「とても」はそれほど多くないものの、「けっこう」「だいたい」を合わせると肯定的評価が大半を占めていることがわかる。

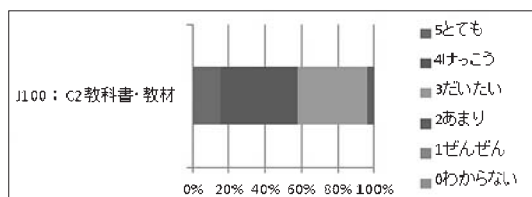


図4-1-1：J100の回答結果

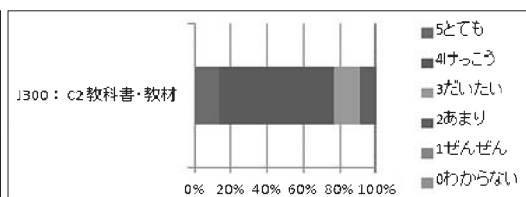


図4-1-2：J300の回答結果

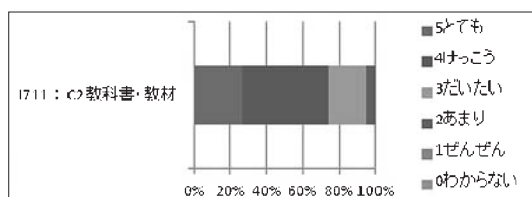


図4-1-3：J400の回答結果

中上級レベルの技能別クラスにおいて、J511 (30名)、J611 (19名)、J711 (19名)、J911 (22名)、J914 (11名) の文法クラスの回答結果は、図4-2-1～図4-2-5のようになった。文法クラスにおいては、どのレベルでも、教科書・教材の評価は高かった。

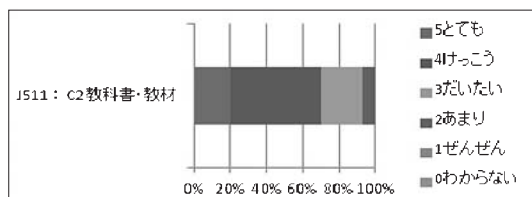


図4-2-1：J511文法の回答結果

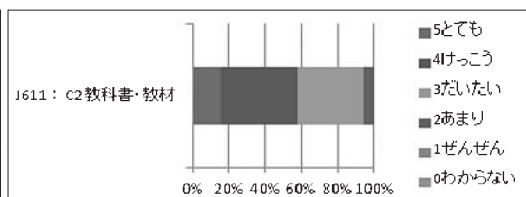


図4-2-2：J611文法の回答結果

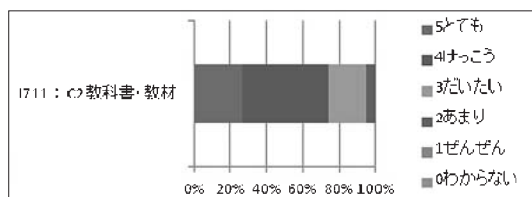


図4-2-3：J711文法の回答結果

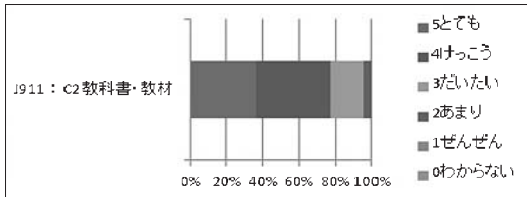


図4-2-4：J911文法の回答結果

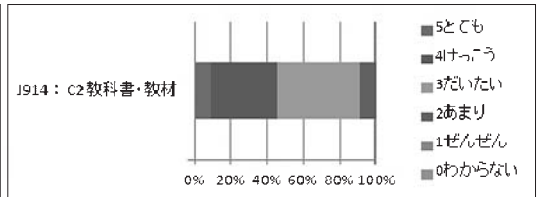


図4-2-5：J914文法の回答結果

J521 (37名)、J621 (32名)、J721 (23名)、J821 (13名) の「話す」クラスの回答結果は、図4-3-1～図4-3-4のようになった。「話す」クラスでは、特定の教科書や教材を使うことが少ないと思われるが、500、600、700レベルでそれぞれ「あまり学べなかった」という回答が少し見られたほかは、「だいたい」と「けっこう」という肯定的評価が多かった。特にJ821では「けっこう学べた」という回答が非常に多いのが特徴的である。

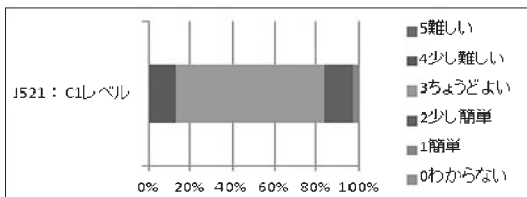


図4-3-1：J521話すの回答結果

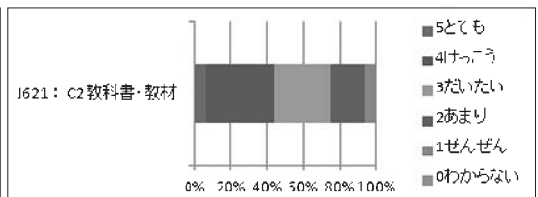


図4-3-2：J621話すの回答結果

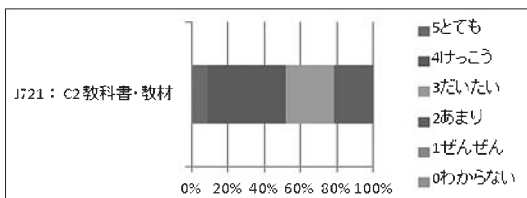


図4-3-3：J721話すの回答結果

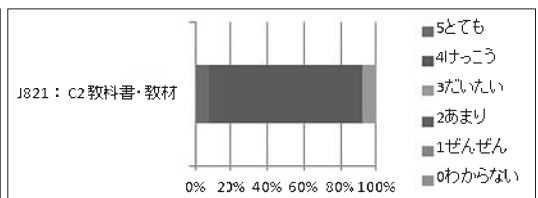


図4-3-4：J821話すの回答結果

J531 (47名)、J631 (29名)、J731 (27名)、J831 (11名)、J931 (8名) の「聞く」クラスの回答結果は、図4-4-1～図4-4-5のようになった。「聞く」クラスにおいても、教材に関しては肯定的評価が大多数を占めており、特にJ931では全員がほぼ満足していることがわかる。

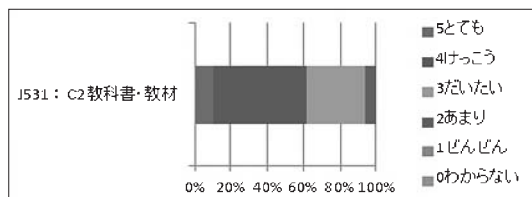


図4-4-1：J531聞くの回答結果

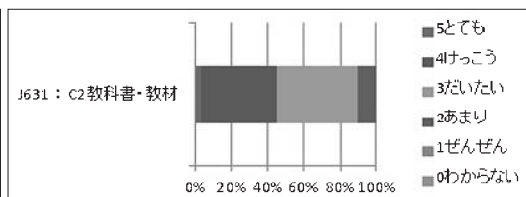


図4-4-2：J631聞くの回答結果

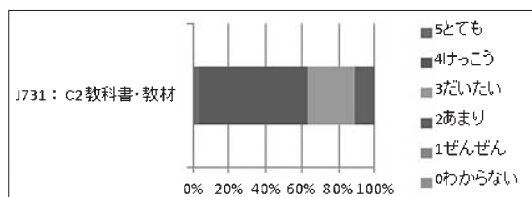


図4-4-3：J731聞くの回答結果

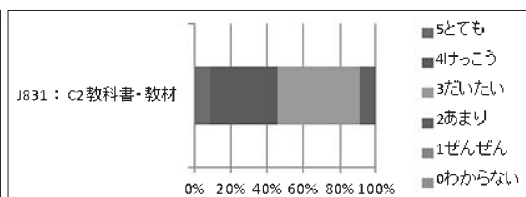


図4-4-4：J831聞くの回答結果

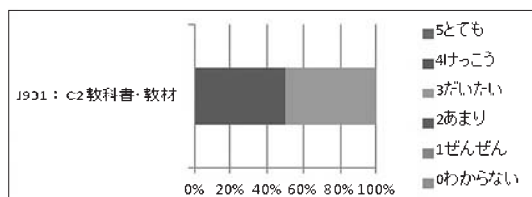


図4-4-5：J931聞くの回答結果

J541 (34名)、J641 (29名)、J741 (15名)、J841 (10名)、J941 (7名) の「読む」クラスの回答結果は、図4-5-1～図4-5-5のようになった。500レベルの「読む」クラスにおいては、前のセクションでもずっと見て来たように、受講者の読む技能に関する能力差があると思われる、教科書・教材に関する評価でも、「とても」と非常に肯定的に評価する回答がある一方で、「あまり」「ぜんぜん」という否定的な評価もあり、回答結果が散らばっている。しかし、上のレベルに上がるにつれて肯定的評価が増え、特にJ841では回答者全員が「とても」と「けっこう」を選んでいるのが注目される。

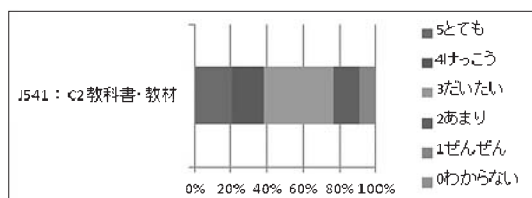


図4-5-1：J541読むの回答結果

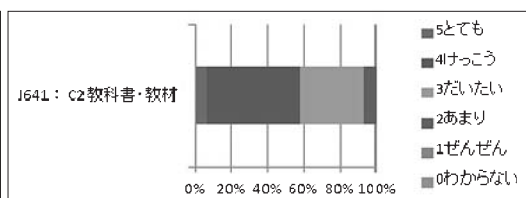


図4-5-2：J641読むの回答結果

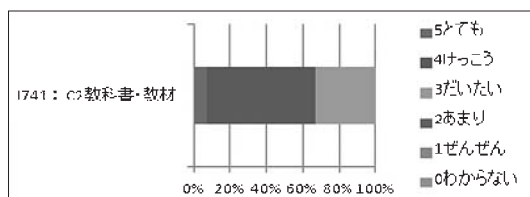


図4-5-3：J741読むの回答結果

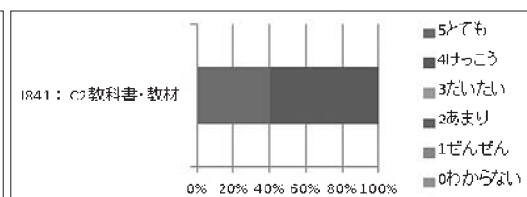


図4-5-4：J841読むの回答結果

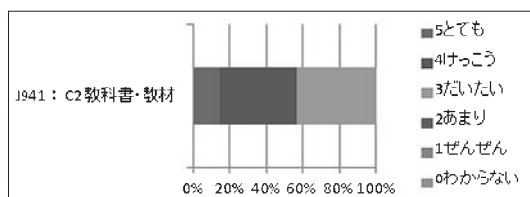


図4-5-5：J941読むの回答結果

J551 (39名)、J651 (19名)、J751 (26名)、J851 (18名)、J951 (3名) の「書く」クラスの回答結果は、図4-6-1～図4-6-5のようになった。「書く」クラスにおいては、前のセクションの結果と同様、500レベルでは問題がないが、600、700レベルにおいて「あまり」と「ぜ

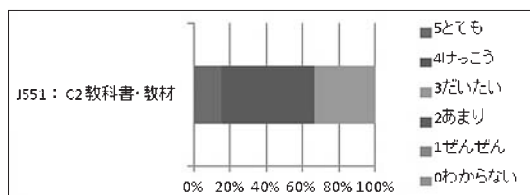


図4-6-1：J551書くの回答結果

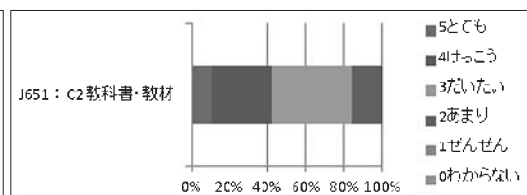


図4-6-2：J651書くの回答結果

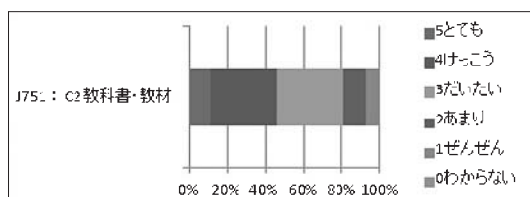


図4-6-3：J751書くの回答結果

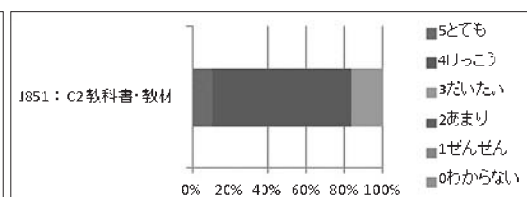


図4-6-4：J851書くの回答結果

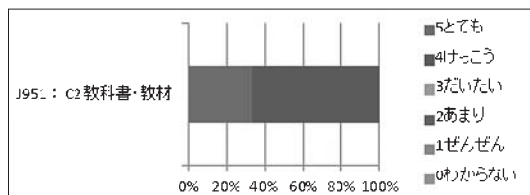


図4-6-5：J951書くの回答結果

んぜん」という否定的評価が若干見られる。ただ、上級になると肯定的評価が増え、特にJ951では回答者全員が「とても」と「けっこう」を選んでいるのが注目される。

漢字クラスK200（9名）、K300（9名）、K400（15名）、K500（21名）、K600（21名）、K700（21名）、K800（11名）、K900（9名）の回答結果は、図4-7-1～図4-7-8のようになった。初級レベルの K200、K300の「漢字」クラスでは肯定的評価と否定的評価が散らばっているが、K400、K500と、初級後半のレベルになるにつれて、肯定的な評価が多くなっている。さらに600レベルで中級教材を使うようになると、また否定的評価が若干現れるが、中級教材の使用に慣れて来ると、K700では「とても」の評価がかなり増え、上級教材を使用するK800、K900においては肯定的評価のみという結果となっている。

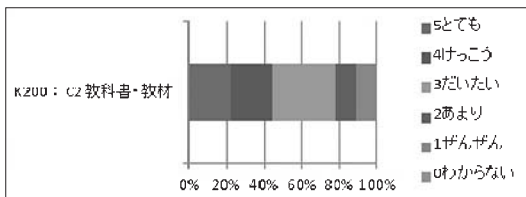


図4-7-1：K200漢字の回答結果

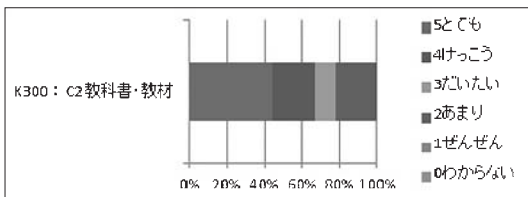


図4-7-2：K300漢字の回答結果

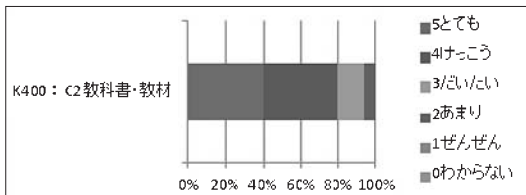


図4-7-3：K400漢字の回答結果

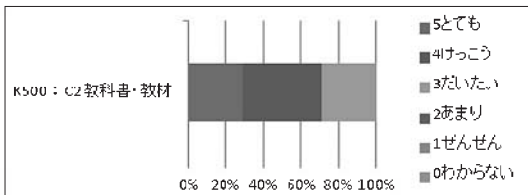


図4-7-4：K500漢字の回答結果

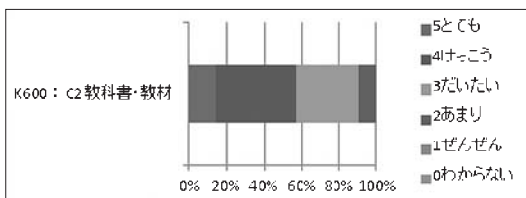


図4-7-5：K600漢字の回答結果

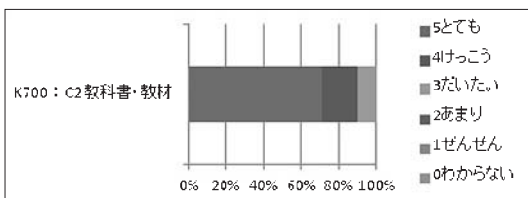


図4-7-6：K700漢字の回答結果

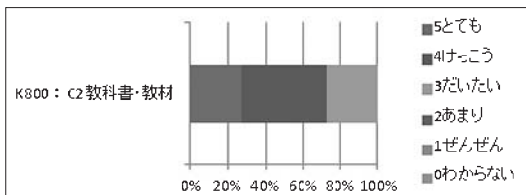


図4-7-7：K800漢字の回答結果

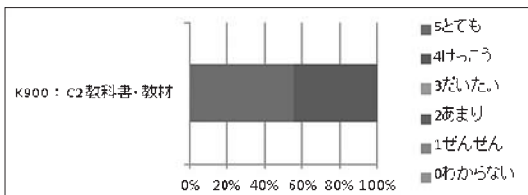


図4-7-8：K900漢字の回答結果

5. まとめ

本稿では、授業評価アンケートを実施した結果を、大きく初級日本語コースと、中上級の技能別クラスとに分けて報告した。

A. 授業全般についての学習動機、授業内容、自主学習の促進、満足度に関しては、クラスによって若干の違いはあるものの、どのレベルでも満足度が高かったと言える。

B. 各授業の内容についてシラバスやスケジュール、宿題、テスト、教師の指導法、成績評価の方法、日本語の上達に役立ったかどうかについて、否定的な評価は少数であり、大多数の受講者は肯定的な評価をしていることがわかった。

C. 授業のレベルが自分に合っていたか、テキストや教材でうまく学ぶことができたかという項目についても、大多数の意見は肯定的なものであり、日本語補講コースの担当者の教授能力の高さ、および日々の教育への努力が認められていると言えよう。

ただ、初級から中級に上がる際に、どの技能クラスにおいても、評価に若干の散らばりが観察された。特に、500レベルの「読む」クラスにおいて、初級レベルにおける読み書き能力の不足をいかに補うか、また受講者の能力差に対処するためにどのようにすればよいかを考える必要があるのではないかとということが示唆された。

本稿では、各調査項目への受講者の回答結果を概観することにより、今後の日本語プログラムの改善に役立つ情報が得られるのではないと思われる。来年度から、新しいシラバス、カリキュラムが実施される予定であるが、ここで得られた情報を今後の教育の改善に生かしていきたい。また、本稿では自由記述などに現れた個々の問題に関しては取り上げなかったが、これについては各授業の担当教員が真摯に受け止め、授業改善に役立てていくことが期待される。

謝辞

このアンケート調査結果のデータ入力、留学生交流課の非常勤職員谷口結香氏によるものである。記して感謝の意を表したい。

注

1. 2004年度の日本語プログラム改編のねらいは、予備教育コースと補講コースのモジュール化、学習者の目的に合わせた目的別・技能別中上級クラスの充実であった。その結果、一般日本語コース（初級）4レベルと、アカデミック日本語クラスなど目的別・技能別の中上級コース3レベルが設定されることとなった。日本語プログラムの改編に関する詳細は、加納（2005）を参照のこと。
2. 2007年度には、アカデミック日本語などの目的別クラスの編成をやめ、一般の初級日本語コース4レベル（J100～J400）と、技能別の中上級コース3レベル（J500～J700）

への改編が行われた。詳細は、加納 (2008) を参照のこと。

3. 留学生センターの倫理委員会は、2012年度にセンター連絡会で留学生センター長の発案により発足し、野村名可男准教授 (企画調整部門) を委員長として、鈴木伸隆准教授 (短期留学・交流部門)、鈴木華子助教 (相談指導部門) が2012年度委員を務めている。
4. 全学の学類科目について行われている共通の授業評価には、授業実施に関する「授業がスケジュール通り行われたか。また、休講になった場合に、その代わりの授業は行われたか。」という質問があるが、日本語補講コースについては、授業実施をセンター側が管理しているため、その質問項目は必要ないと判断した。

参考文献

- 加納千恵子 (2005) 「日本語教育の多目的化およびモジュール化 —2004年度留学生センター日本語プログラムの再編報告—」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』20 : 93-108
- 加納千恵子 (2008) 「2007年度日本語補講コースの改編報告 —カリキュラムの改編と技能別シラバスの整備—」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』23 : 135-146